

おはじきサッカーを図解

イギリス生まれの新スポーツ

サッカー選手のフィギュアが乗ったおはじきを指で弾き、ボールをゴールまで運ぶゲーム、おはじきサッカー。
しかし、ただのボードゲームと思うことなれ！ 海外では根強い人気があり、毎年ワールドカップも開催され50カ国
ものプレイヤーが集う本格的なスポーツなのです。

since 1946
birthplace in England

ルール

- 1対1（2人のプレイヤーで行う）
- 試合時間は前後半15分ずつ
- 人差し指と中指のみ使える
- 親指のバネを使うと反則
- 同じ駒は連続して3回までしか使えない
- シュートはボールが完全にシュートライン
を超えた時に可能

さあ、ゲームだ！

- プレイヤーは攻撃と守備に分かれる
攻撃の駒のみボールに触れさせることができ。弾いた駒がボールに触れなかったり、
守備側にボールが当たったりした場合は攻
守交代。守備は、攻撃側がおはじきを弾くご
とに自分の駒を1回だけ弾くことができる。



競技プレイヤーは皆、選手兼監督
戦術・技術・素早い判断力を研ぎ澄ませ！

アシアカッフ 2017.6.10 午前9時～午後8時30分 / 6.11 午前9時30分～午後7時 in 足立区生涯学習センター

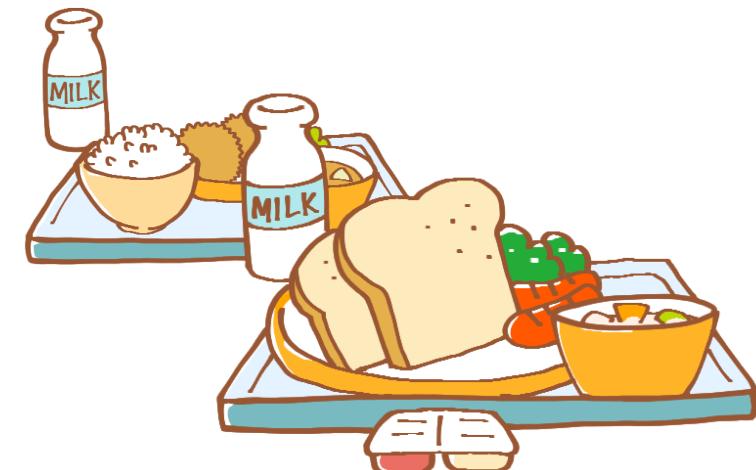
【主催】一般社団法人日本おはじきサッカー協会 【共催】足立区教育委員会 足立区新田地域学習センター
【TEL】090-9847-4982 【Email】ohajikisoccer@gmail.com 【申込】不要・時間内出入り自由

画像提供/©NOSK



03 学校給食

食は人をつくる



明治22年から始まった学校給食は、120年以上の歴史があります。子どもたちの栄養不足を補う目的で導入された戦後の食糧難時代から、偏食に伴う生活習慣病予防などを盛り込んだ現代まで、時代によって学校給食の果たす役割も少しずつ変わってきました。さらに平成20年に学校給食法が一部改正され、児童・生徒が生涯にわたって健康でいられる身体づくりを目指すだけではなく、食を通して豊かな人間性を育む場として、教育現場で様々な食育活動が行われるようになりました。

足立区では「味」「食材」「献立」「環境」の4項目から食を学ぶ「おいしい給食事業」の取り組みが行われています。味そのものを良くし、食べ残しや残り物を減らしていくことはもちろんのこと、食に関する正しい理解や栄養バランスのとれた食事とは

学校をきっかけに家庭に広がる食育の場。日常の中に、楽しい給食の時間は親子で語り合う場面もあるかもしれませんね。足立区公式ホームページでは、学校給食の取り組みを魅力的な企画とともに掲載しております。給食の裏側をぜひ、覗いてみてください。

「今日の給食はね

なにかを学び、そこで関わる生産者や調理師の存在が身近に感じられる工夫がなされています。自然の恵みや料理を作る人たちといった私たちの食生活を支えるものに対する感謝の念を持ち、給食の時間を心豊かに楽しんで貰いたいとの思いで行われています。

児童・生徒が意欲的に食を学び、これからの人間形成の大きな力となるように、学校にとどまらず保護者や調理業者、農家など地域全体で食育を進めていきます。